



Kathy Lien,  
Director of Currency Research

gftforex.com  
One World Financial Center, 200 Liberty Street  
22nd floor, New York, NY 10281

BY KATHY LIEN

今日のFXマーケット 01.31.12  
(2012年2月1日発行)

## FX: ドルの上昇に力なし；一層の上昇には多くの好材料が必要

米ドルはまちまちの動きを見せたが、金融市場の最近の回復基調に陰りが見え始めたことに、疑いの余地はない。通貨も株価もチャート上の抵抗線を前に上げ止まった。今後よほどの好材料でも出ない限り、下落に転じる公算が高い。今日もギリシャ債務交渉にさしたる進展はなく、投資家の忍耐も限界に近づきつつある。ガーディアン紙によれば、ギリシャのパパンドレウ首相は緊急会議を招集するとのことで、債務交渉の難航が伺える。今夜中国では製造業 PMI が発表される。あらゆる指標が本年度中国経済のソフトランディングを示唆しているだけに、期待を大きく裏切る数値が発表されれば、市場の失望は大きいだろう。今日米国では景気低迷を表す経済指標が相次いで発表され、FRBの懸念を裏付け、QE3の可能性を高めた。問題は、米国の指標が強弱入り乱れていることにある。たとえばミシガン大学は、消費者信頼感指数がここ一年近くの最高水準に達したと伝えたが、一方でコンファレンスボードの発表によれば、消費者は以前ほど楽観的ではない。経済指標こそ景気の見通しを明確に示さないが、FRBの金融政策に関して曖昧なものは何もない。彼らは向こう三年間ゼロ金利政策を維持するばかりか、量的緩和追加の口実を待ち構える。今日の指標が直ちにQE3を発動させることはないだろうが、FRBが1月に表明したハト派姿勢の正当性を裏付けるには十分であった。FEDは投資家が経済指標の改善を過大評価することを警戒するが、それは彼らが景気回復は一時的に過ぎず、依然重大な下振れリスクが存在すると確信するからである。USD/JPYの下落基調が一向に転換しないことから見ても、対ユーロでの上昇にもかかわらず、投資家のドル買い意欲が極めて僅少なことが伺える。

## EUR: ギリシャ債務交渉の難航

遅々として進まぬギリシャ債務交渉を嫌気し、ユーロは対米ドルで値を落として引けた。EUサミット前の合意が期待されたのにも拘らず、結局さしたる進展はなかった。今週に入ると金曜までの妥結観測が流れたが、その後2月半ばまで決着しそうにないとの見方も出始めている。現時点においては、EU当局者であれギリシャの首相であれ、誰の言葉を信じるのも困難だ。ロイターの最新情報によれば、ギリシャのベニゼロス財務相は今日、「新たな事実に基づき、非常に真剣な議論が行われている。PSIに関して、当初より大幅な貢献が討議されている」とし、「70%を超える元本減免(ヘアカット)率が検討されている」と述べた。これは交渉にとって歓迎すべきニュースではない。何故なら民間債権者の間に大きな議論を巻き起こし、交渉を長引かせることは必至だからである。ガーディアン紙は、IIF側の執拗な要求と政治家による拒絶の繰返しに直面したギリシャ首相が、緊急会議を招集すると伝えた。一方でECBがバランスシートを1兆ドル拡大するとの観測も流れた。長期資金供給オペ(LTRO)は国債利回りの上昇を止め、銀行の国債購入を後押ししただけに、その規模拡大は国際市場にとって好いニュースである。LTROが実施されなければ、欧州、特に問題国の国債利回りの大幅上昇は避けられない。しかし通貨ユーロにとって、LTROは味方にも敵にもなり得る。何故ならそれは、実質的に量的緩和の縮小版だからである。FEDがQE3を発動しない限り、ECB単独による1兆ドルのバランスシート拡大は、EUR/USDにとって悪材料である。それでもLTROは、投資家需要に対する懸念を軽減することで、欧州の株式および債券市場を下支えた。国債利回りが安定して入札が順調に消化されれば、その分信用危機は緩和し、ユーロが上昇することもあり得よう。

外国為替保証金取引や、CFD、デリバティブその他のレバレッジ取引には高いレベルのリスクが潜在しており、預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、全てのお客様に適している投資商品とは言えません。本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

弊社及び著者は投資サービス、法律サービス、会計・税制サービスあるいはその他のプロフェッショナル・サービスは提供しておらず、そのような必要が生じた際は適切なプロフェッショナルからサービスの提供を受けてください。同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録(関東財務局長(金商)第268号)および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。[www.gftforex.co.jp](http://www.gftforex.co.jp) ©2012 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。GD08J.006.011212